

どうぶつこうえんニコース



 千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

No.51

2004
春

トナカイ (偶蹄目・シカ科)

去年の7月24日にオスのトナカイ（タツオ）が死んでしまいました。タツオは、来園して5年間の間に姉さん女房の愛子と仲むつまじく、時にケンカをしながらも3頭のメスの子どもをもうける良い父親でした。今度はオスの子どもがほしいと思っている矢先の死だったのでとても残念でした。

その後、若いオスを探してもらい、去年の11月4日に来園したのが、釧路市動物園から来た、神助くんです。神助は平成14年5月12日生まれで1歳5ヶ月での来園です。来た時は輸送箱に入れられて来るので角を切られていて、若いせいもありやけにひ弱に見えて、愛子に負けてしまいそうな感じでした。

来園してから2週間は、検疫期間で体調を調べるために愛子の隣の部屋に入れたままで展示場に出すことは出来ません。この検疫中に便の中からムシが発見され、駆虫するために10日ほど検疫が伸びてしまいました。お腹にムシがいたため、ひ弱な感じが強調されたのかもしれません。検疫が終了しても、すぐに愛子と一緒に展示場に出せないのが、1週間ぐらい午前中だけ神助を出し、午後に愛子を出

すようにして、展示場に慣れてもらい、その後、神助と愛子と一緒に展示場に出してみました。すると神助は愛子におどろいてエサの青草を少し口にくわえて、展示場を走りまわってしまいました。神助はエサをあまり食べられず、愛子に近づくと、前足で顔をけられてしまい、おどおどしています。その日は夕方まで部屋になかなか入りませんでした。それでも月日がたつうちにだいふたくなってきましたが、まだ、愛子に顔をけられる日々が続いています。

鈴木 克典 (Katsunori Suzuki)



目次

CONTENTS

表紙【ホンドザル】	①
トピックス【トナカイ】	②
遊園地に新機種	
「レディバード」がオープン!!	③
クラフト教室紹介	④
平成16年度写真コンクール	④
動物カルタ展	⑤
動物公園の植物【ヤマモモ】	⑥
飼料センターより【飼料センターへようこそ】	⑥
動物公園日誌から【'03.11/1~'04.1/31】	⑦
裏表紙【アカハシハジロ】	⑧
Information	⑧

表紙の説明 ホンドザル

千葉市動物公園のホンドザルは大阪の箕面市に生息していた一群を譲り受けたもので、ボスザル（最近では第一位オスと表すことが多い）はすでに四代目です。

かつて三代目の時、そのあまりの人気のなさと統率力のなさで、トラブルが続出することに手を焼いた係員が、三代目に敗れた、年寄りだがメスザルに人気の二代目を人為的に復帰させてうまく治まったことがありました。

ホンドザルの社会は母系社会で、実質的な支配者はメスザルなのです。身につまされますね……。

秦 舜二 (Syunji Hata)

動物飼育数

平成16年1月末現在の飼育数

Classified number of animals
as of 31 Jan. 2004

哺乳類	63種	409点	両生類	1種	1点
鳥類	78種	320点	魚類	0種	0点
爬虫類	5種	22点	総計	147種	752点



遊園地に新機種

「レディバード」

がオープン!!

遊園地（ドリームワールド）の乗り物「ツイスター」に代わり、新機種「レディバード」が登場します。「レディバード」とは英語でテントウムシを表していて、これをモチーフとした可愛い乗り物です。2歳以上*1であれば誰でも乗れますので、ご家族みんなで楽しんでみてはいかがでしょうか？

ただ、この「レディバード」はかわいい顔をしていて、実はカーブの所にちょっとした仕掛けが……。それは乗ってからの楽しみ。動物公園へ遊びに来た際は、遊園地にて「レディバード」をぜひ体験してみてください。（1回200円）

※1 小学生未満の方は付添者の同乗が必要となります。



ほんの少しの時間で

動物グッズを

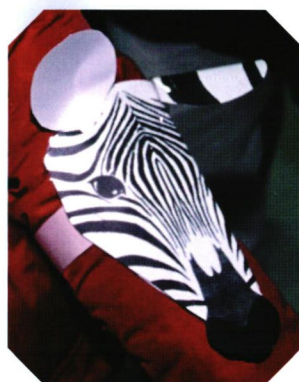
作ってみませんか？



土、日曜日の午前11時30分から1時間ほど、動物科学館1階ロビーで「クラフト教室」が行われています。子ども動物園のヒツジの原毛から作るヒツジ人形や、シマウマの顔を作るペーパークラフト、季節によっては園内の落ち葉を利用したしおり作りなど、メニューも豊富です。その日のメニューは動物科学館案内でお確かめ下さい。もちろん、

参加費は無料ですが、数に限りがありますので整理券で調整させていただきます。

動物公園ならではの素材を使ったクラフト教室に、どうぞ参加下さい。春休みは毎日行っています。

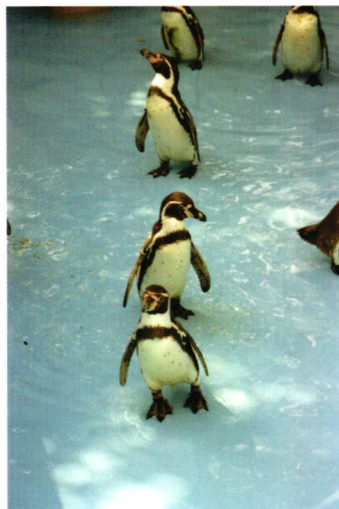


シマウマのお面

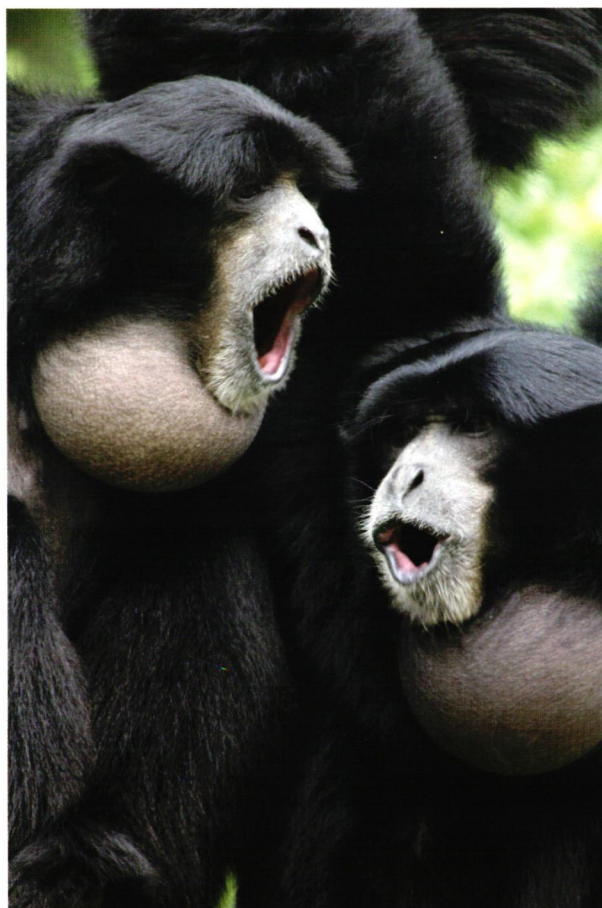


ヒツジの人形





優秀賞 「行進」 竹内 朗



最優秀賞 「大合唱」 高山 景司



特選 「水遊び」 有泉 和子



入選

「イエーイ」 小川 晃代



「そっくりさん」 吉田 幸江

入選



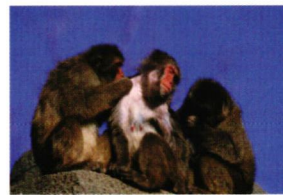
「ヒップ」 小杉健次郎

入選



「山羊さん。だめ」 渡辺 昌義

入選



「満足・満足」 坂倉 徹

入選



佳作

「あ・にげそう」 矢野 哲郎



「おいちいかい」 大元 一洋

佳作



「お互いに」 石川 良彦

佳作



「シェー！」 小川 悟志

佳作



「はいポーズ」 久保 善良

佳作

選考を終えて さとうあきら

写真コンテストに入選された方はこれからの励みとなるにちがいありません。ところが、選外の場合は「どうしてこんなイイ写真が落ちるんだ」と、がっかりして、そこでおしまいにしてがちです。しかし、応募の目的を入選することだけに絞るのはもったいないことです。「人に見せる」ことを意識し、締め切りまでに作品として完成させる、その過程が大切です。自分の最高の作品が時間内に出来るかを確かめる絶好のチャンスなのです。

コンテストは、相手があって競う場。レベルが高い作品が集まれば、それだけ評価はかくなります。今回落選した作品も、ほかのコンテストに応募すると入選するかもしれません。

入選作をよく見てください。細かいところを見るのではなく、画面から何を感じとれるかを考えてください。撮影者の想いが見る人に伝わる写真、それが良い写真といわれるものです。

【写真コンクール記念講演会】 ファインダーから見た千葉市動物公園

平成16年2月8日動物科学館レクチャールームにおいて、写真コンクール記念講演会が動物自然写真家のさとうあきら先生を講師に迎えて開催されました。

演題からおわかりのように、さとう先生らしい動物の撮影方法や、動物を撮影する時のお話などをしていただき、最後に参加者の方への先生からのプレゼントもあり、なごやかなさとう先生の人柄が溢れた講演会でした。



たくさんの作品ありがとうございました!

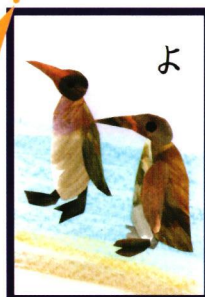
「どうぶつカルタ」プロジェクト

昨年から2年がかりではじめた「どうぶつカルタ」プロジェクトに、ようやくゴールが見えてきました。多数の皆様に、動物にちなんだ絵と読み札をセットで応募していただき、約1ヶ月間、全作品を動物科学館2階の特別展示室に展示しました。作品数は、昨年は128点が、今年は237点が集まり、中にはクラス全体でとりくんでいただいた学校もありました。昨年同様、お客様に「お気に入りの作品」を選ぶ人気投票

にご協力いただき、上位人気作品を中心として51文字のカルタが完成したわけです。ここにご紹介した作品は、15年と16年それぞれの人気投票ベスト3です。

ごらんのよう、とても味わいのあるカルタができました。当園のイベントなどで使わせていただく予定ですが、4月からはご希望の幼稚園や小学校にもお分けできるよう、準備をすすめてまいります。どうぞご期待ください。

平成15年



よ

よ
ちよちと
歩くペンギン
かわいいな



あ

ア
ライグマ
いつも
ゴシゴシえさを
洗ってきれいだな



し

し
ツサーばあさん
年をとっても
かわいさは
かわらない

平成16年



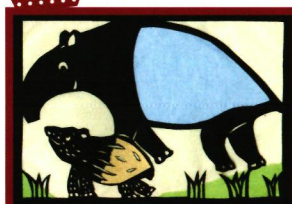
ふ

ふ
ゆになつたら
毛がとれて
春になつたら
また多くなるねこ



と

と
らはきようぼう
人をくつて
おなかにつばい



マ

マ
レーバク
大きなパンツを
はいている
子どもも
はいている
はいてる

上位人気6作品の紹介



動物公園の植物…②④

The plants in the Zoological park

ヤマモモ (*Myrica rubra*)

ヤマモモは、ヤマモモ科ヤマモモ属の常緑高木です。

ヤマモモ科は2属約40種からなり、南アフリカにヤマモモ属の多くの種があるそうです。

暖地に生える高さ20mに達する高木で、枝先に葉を密につけ、葉は倒披針形で長さ6～12cm、幅2～3cmとやや小型です。成木では全緑でやや裏に巻いていますが、実生苗や若枝の葉には、大きな鋸歯が出ます。

雌雄異株ですが、実生はほとんどが雄株となるため、実を楽しむためには接ぎ木をします。

花は4月頃開花し、雄花序は赤褐色で旧年枝の先端部の葉腋に直立する長さ2～4cmの尾状花序となり、多数の花をつけます。雌花序は1cm程度と短く、花には花被がなく、苞のなかに雄花では雄しべが5～8個、雌花では雌しべが1個あります。花柱は紅色で2裂します。

果実は球形で6月頃赤紫色に熟し、表面には多汁質の粒状突起が密生し、内に堅い核があり、1種子を有します。完熟すると甘くて美味です。

ヤマモモは関東及び福井県以西の本州、四国、九州、沖縄、朝鮮南部、台湾、中国大陸、フィリピンに分布しています。

果樹としては、特に徳島県で栽培もされ、いくつかの品種もあるそうです。用途は生食の他に塩漬、ジャム、果実酒などに、樹皮は染料や漢方薬として用いられています。材は乾燥すると堅くなり、ろくろ細工、ボタンなどに用いられます。

動物公園では、約300本のヤマモモが園内に植栽されています。

岡澤 薫 (Kaoru Okazawa)



飼料センターより

飼料センターへようこそ



千葉市動物公園の各ゲートで配布している園内マップをよく見ると、東端に管理事務所というのがあることに気づくかと思います。この建物の一角に飼料センターがあります。ここは150種760頭程いる動物たちの餌を保存、調理している台所なのです。この動物たちの食欲を満たすために、野菜・果実・魚・肉・乳製品・固形飼料・添加物など173種類程の餌を大型の冷蔵庫、冷凍庫、湿度が低く抑えられている乾草庫の中で管理しています。

飼料担当の身として第一の仕事は新鮮な餌を切らすことなく、十分な量を手配することですが、昨今の不景気の波は動物公園にも重くのしかかってきています。頭の痛いところで、飼料費予算が毎年削減されていますが、生きる源であり、動物たちの一番の楽しみである食事を削ることはできないので、代替え食品を探すなどして対応しています。

この他にも園内にある様々なものを餌として有効活用しています。捕虫網を手に携えてうつむきながら歩いている職員を見かけたら、それはマーモセットに与える小さな昆虫を探しているところですし、高枝切バサミを抱えながら空を見上げているのはヤマモモやシラカシ、コナラなどの枝を剪定するところです。これは木の葉が好きなサル仲間たち（リーフ・イーター leaf-eaterと呼ばれます）に食べてもらうためです。

もっともこれらは飼料費削減の対応策というよりも、市販のものだけでなく野にあるものを利用して自然状態での多種多様な食生活にできるだけ近づけて、限られたスペースで飼育されている動物たちの環境を向上させる、エンリッチメントの一環といえるかもしれません。

さて、他にどんなに使えるような新しい餌はないかな？

樽川 修 (Osamu Tarukawa)



動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

'03年11月1日～'04年1月31日

- 11月1日 グレビーシマウマ(雌) 脳内出血にて死亡
- アカハナグマ(雌) 多臓器不全にて死亡
- 11月3日 カピバラ(3頭) 繁殖
- 11月4日 トナカイ(雄) 購入にて新着(体重64kg)
- 子ども動物園内 手洗い場に踏み台を設置
- 11月6日 水禽池 池清掃 実施
- 11月7日 ブレーリードッグ 寒さのため展示場に姿みせず
- 11月8日 ワオキツネザル(雌) 元気消失のため病院へ入院処置
- フンボルトペンギン 池清掃 実施
- 11月9日 グレビーシマウマ(雌) 心不全、脳内出血にて死亡
- 「ワンポイントウォッチング」 開催(コツメカワウソ)
- 11月10日 アフリカヘラサギ ヒナを確認
- サル比較舎 扉の交換工事 実施
- 11月11日 ハシビロコウ 本日より室内展示
- 11月12日 グレビーシマウマ(雄1) 心外膜炎にて死亡
- サル比較舎 扉の塗装工事 実施
- ワオキツネザル(仔) 母親より離れてよく遊ぶ
- 11月13日 アンデスイワドリ(雄) 元気消失にて死亡
- 11月15日 トモエガモ(1羽) ネコ食害か?
- 11月16日 ブラッサグエノン ペアリング試みるがトラブルあり
- 11月17日 アシカ・ペンギン 池清掃 実施
- 11月18日 ワタボウシパンシェ(2頭) 繁殖
- 11月19日 シロオリックス(雄) 腸炎にて死亡
- 市立千葉高(40名) 校外学習 実施
- 11月20日 トナカイ(新着) 現場検疫終了
- 11月23日 「ワンポイントウォッチング」 開催(ネズミたち)
- 11月25日 ソウ 池清掃
- 11月26日 ムフロン(雄) 慢性心のう炎にて死亡
- 市内中学校 職場体験学習(7名) 受け入れ 27日まで
- 11月28日 マンドリル 展示場フェンス補強工事 実施



- 11月29日 連続講座⑤開催 「動物の体・人の体」
- 12月1日 全国飼育技術者研究会 1名出席(於:浜松市動物園)
- 3日まで
- 12月2日 イヌワシ(ヒナ) ハシビロコウ舎へ移動
- 12月5日 アジасイギウ(雌) 獣舎内にて起立せず、抗生剤投与
- 12月6日 ワオキツネザル(雌) 神経マヒにて死亡
- 12月7日 「ワンポイントウォッチング」 開催(ロバ)
- 12月8日 パラワンコクジャク(雌1) 業者より交換にて新着
- ブラッサグエノン、フサオマキザル 交尾の確認
- 12月9日 アジасイギウ(雌) うっ血性心不全にて死亡
- コシベニペリカン(雌) 出血多量にて死亡
- 12月10日 ゴリラ(雄) 展示場で吐き戻しみられる

12月13日 ニホンリス(雌) 頭がい内出血にて死亡

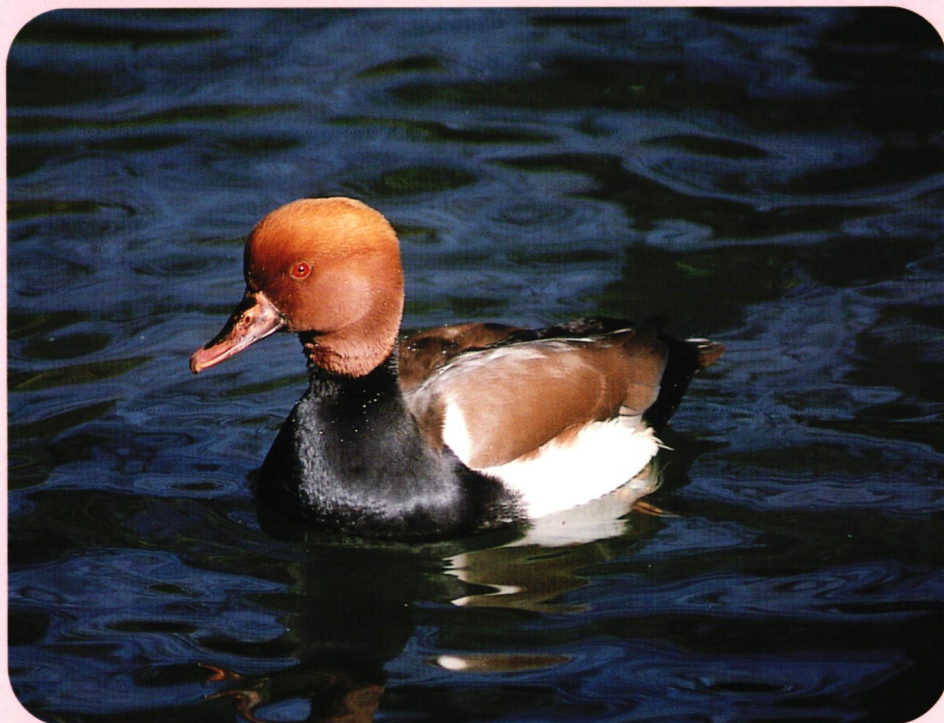


- 12月14日 クリスマスシアター開催
- フンボルトペンギン 産卵(1)あり
- 12月17日 市内中学校 職場訪問1名 受け入れ
- 12月22日 ソウ 自動扉修理 実施
- 12月24日 市立千葉高(38名) 校外学習 実施
- パラワンコクジャク(雌) 検疫明けにてバードホールに移動
- 降雪のため、展示せず
- 12月27日 シロエリハゲワシ 巣台に巣材を入れる
- 12月29日 ヤギ ヒツジコーナー 清掃作業一般来園者に開放
- 1月2日 新春お年玉プレゼント(〜3日)
- 1月3日 牧場コーナー ウマ個体プレートの設置
- 1月5日 エンペラータマリン 展示室 床敷撤去
- ニシローランドゴリラ やや風邪気味にて投薬
- 1月8日 動物病院 修繕工事にて扉の撤去



- 1月11日 バードウォッチング開催
- ブラッサグエノン 動物病院よりサル比較舎へ移動
- アシカ舎 循環ポンプ故障につき、モーターの停止
- 1月13日 ムギワラトキ(1羽) 死亡
- クロザル 展示場フェンス補強工事 実施
- オランウータン舎 自動扉のストッパーの設置
- 1月15日 ダチョウ(2羽) 業者より動物交換にて新着
- ワタボウシパンシェ(2頭)、シロガオマーモセット(1頭) 繁殖貸与にて江戸川自然動物園に搬出
- 1月16日 ホオカザリツル(雌) 心膜炎 胆のう炎にて死亡
- クロザル 性皮膨大 目立つ
- サル島池 氷張りなかなか解けずオープン展示に
- 1月17日 マンドリル 展示場ワイヤーの交換
- 1月19日 総合獣舎 自動扉点検・修繕実施
- 1月20日 子ども牧場 水のみバルブ修繕
- マンドリル 性皮膨大 目立つ
- 1月21日 アメリカバイソン 夕方収容時興奮し、入室せず
- どうぶつこうえんニュース 編集会議
- 1月26日 マンドリル フェンス補強のため交換工事
- 1月27日 テンジクネズミ(雌1) 死亡
- ブラッサグエノン(雄) 元気消失にて入院処置
- 1月29日 地域新聞社 取材あり(カンムリツル)
- 1月30日 テナガザル 交尾の確認

牧野 辰男(Tatsuo Makino)



アカハシハジロ



Information

3月・4月・5月の 催し物一覧

- ★ 3月20日⊕ 春のZOOクイズラリー
- ★ 4月18日Ⓜ ワンポイントウォッチング「フラミンゴ」
- ★ 5月9日Ⓜ バードウィーク講演会
- ★ 5月15日⊕ ワンポイントウォッチング「モウコノウマ」
- ★ 5月16日Ⓜ ファミリーシアター
- ★ 5月23日Ⓜ ゆかいな森の音楽会
- ★ 5月30日Ⓜ ヒツジの毛刈りと紡毛教室

イベント開催日は予定ですので、変更になる場合があります。